

事業向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		「階段」については当面の課題。人力にて対応。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		定期的な実施にいたっていないため、定例化していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		「時間」確保に向け、業務整理
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをしその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医	○			

		等と連絡体制を整えているか			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	今後、保育所等とも連携を図って行きたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか		○	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	今後、定期参加を目指す。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	具体的な支援まで至っていないため(相談止まり)、具体化する。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○	
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	
	㉟	個人情報に十分注意しているか		○	
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通情報伝達のための配慮をしているか		○	
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	事例がないため、情報収集からしっかりと行って行きたい。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	事例がないため、情報収集からしっかりと行って行きたい。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○

放課後等デイサービス『星の音』 保護者アンケート集計結果

平成28年度におきましては、利用保護者向け評価の替わりにアンケートを実施いたしました（札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課確認済み）。その結果を以下の通り公開します。

【実施期間】：平成28年9月下旬～10月上旬

【調査対象者】：契約者の保護者（32件）

【回答者人数】：契約者32件中、22件が回答。（回答率約70%）

【集計結果】：以下の通り

Q1 あなたは「星の音」のプログラムに満足していますか。		
項目	人数	備考
満足	8	<ul style="list-style-type: none"> 娘の好みの内容（創作、調理、お出かけ）があるから。 様々なプログラムがあって、いつもとても楽しいです。特にお出かけすることが大好きです。また、落ち着いた雰囲気なので、居心地が良いです。
どちらかと言えば満足	10	<ul style="list-style-type: none"> 「星の音」を利用することにより、個人のもっている課題を克服しているため、検査の数値が上がっているため。
どちらとも言えない	1	
どちらかと言えば不満	1	<ul style="list-style-type: none"> 人見知りの自分に合っていない
不満	1	<ul style="list-style-type: none"> 勉強が嫌

Q2 あなたは「星の音」に通うのが楽しいと感じますか。選んだ理由も教えてください。		
項目	人数	備考
楽しい	11	<ul style="list-style-type: none"> 毎回いろいろな経験ができて、新鮮な気持ちになれるからです。 いろいろな生徒と交流できるから。 様々なプログラムがあるから。
どちらかと言えば楽しい	4	<ul style="list-style-type: none"> 絵を描く楽しさを知ったから。 好きなことができる。
どちらとも言えない	3	<ul style="list-style-type: none"> 何か言葉づかいが少し荒くなっちゃうので、楽しいけど他の人はどうなのか？
どちらかと言えば楽しくない	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の人が騒がしくて、満足できるほど友だちと話せない。
楽しくない	0	

Q3 あなたは困ったことや悩むことがあったとき、指導員に相談できていますか		
項目	人数	備考
できている	16	
できていない	5	
未記入	1	

Q4 毎日行っている「学習時間」に満足していますか。選んだ理由も教えてください。		
項目	人数	備考
満足	4	<ul style="list-style-type: none"> ちゃんと結果が出ているから。 分からないとき教えてくれる。 分からない所などが、しっかり勉強できるから。
どちらかと言えば満足	4	<ul style="list-style-type: none"> 学習は大変に思うときもありますが、分からないところを先生に聞けるところは良いと思っています。 一人一人のペースに合わせてできるからいいと思う。

どちらとも言えない	8	<ul style="list-style-type: none"> • 学校の授業より時間が長い。 • 学習するより体験の時間が多い方がいい。 • 勉強中、頭が痛くなることが多くて集中できない。
どちらかと言えば不満	1	<ul style="list-style-type: none"> • 雑音が苦手な課題をもっているため、話し声で集中できない。
不 満	3	<ul style="list-style-type: none"> • 勉強したくない。
未記入	2	

Q5 「星の音」について、改善してほしいことや要望等があれば書いてください。

- 特定の人にのみ会える工夫をしてほしい。 • 体を動かすことをいっぱいしたい。
- 運動や音楽を増やしてほしい。 • カラオケを増やしてほしい。
- のぼのぼにまた行きたい。滝野すずらん公園や北大博物館に行きたい、そうです。
- 部屋のスペースがもう少し広いといいですね。
- 本当は体を動かす室外活動に参加させたいと思っていますが、本人がなかなかその気になってくれません。キャッチボールは好きなようですので、そういったプログラムも組んでくださればと思います。またいろいろな学年のお子様がいるので、できる範囲で、今月のような市議会見学や、社会に出てからイメージをもてるような職場見学等、高校生向けプログラムもあつたら良いなと思います。
- いつも大変お世話になっております。息子からプログラムの要望で「老人ホームや保育園へ行ってボランティアをしたい」ということです。いつも、様々な体験をさせていただき、少しずつ視野が広がっていると感じます。息子の場合は、学校生活とつながりがあるデイなので、先生方に個性を理解していただいていることが、大変心強いです。私も日々の様子を伺うことができ、本当に助かっています。
- 「学習の時間」はとてもいいと思うが、テスト前などは少し長くできたらいいと思う。
- 調理体験がとても楽しかったと、言っています。行事が増えて楽しそうだなと思っています。本人も、また、行きたいと言っています。 • 外レクをもう少し増やしてほしい。(近辺散策でも良いので)

回答率

Q1	Q2	Q3	Q4	Q5
81%	68%	72%	36%	36%

アンケート結果より

- プログラムに関しては、満足をしていただいていると考えられる。6つの類型の内容を提示しているプログラムの編成は、今後も継続していく。
- 通うのが楽しい、あるいは、どちらかと言えば楽しいと感じている利用者が約7割であるというのは、活動を提示し、運営する側としては、大変うれしい評価である。また、理由のところ、利用者が、友だちや指導員など人とかかわることにうれしさを感じている、という記述が多く、星の音の大きな活動の目的に沿った形で利用者が感じていると理解できる。
- 利用者が困ったときに、指導員に相談ができていて、あるいは、できていると思う、と言うのが7割以上で、人としてのかかわりが良い方向に広がり、深まっていると考えられる。しかし、これに安心することなく、利用者である子どもさんたちの気持ちを感じ取りながら、適切な療育を進めていくことが肝心である。
- 基本的に毎日行っている個別学習については、36%の人が満足、あるいは、どちらかと言えば満足と答え、どちらとも言えないという答えも36%あった。この個別の学習の時間は、学習の習慣化を目的に実施している。利用者の子どもさんたちにとっては、楽しいことではないかもしれないが、視点を変わると、不満と感じている利用者が2割弱というのは、強い拒否はないと考えて良いと思われる。
- 全体的な要望として色々な内容の活動、それに年齢に応じた内容というものを望む声が多いのではないかとと思われる。今後も、いろいろなニーズに応じた活動を行っていくことが重要であると思われる。